

基本目標
(第2期滋賀県教育
振興基本計画から)

未来を拓く心豊かでたくましい人づくり～学び合い支え合う「共に育つ」滋賀の教育～

県民へのメッセージ

子どもの確かな学力、豊かな心、健やかな体を育み、滋賀らしい教育を推進することにより、子どものたくましく生きる力を育みます。あわせて、子どもが自らの輝く能力を見出し、磨き、成長させながら、様々な人々と互いに支え合い、共同していける力を育み、「自立と共生」に向け、主体性、社会性を育む教育を進めます。
そのために、一人ひとりの職員が目標を共有し、議論を深め、意思疎通を図りながら、最大限の効果が発揮できるよう全力で取り組みます。あわせて、総合教育会議を有効に活用するとともに、市町や関係機関等と緊密に連携し教育施策を重点的かつ総合的に推進します。

経営資源

県教育委員会：
事務局8課・3機関(288人)
県立学校66校(3,994人)
＜平成27年度予算 1,338億円＞

連携・協力

市町、市町教育委員会
(幼稚園・認定こども園154園、
小学校225校、中学校97校)、
関係機関、家庭・地域

子どもの「学ぶ力」を向上させます

○「学ぶ力向上 滋賀プラン」で子どもの「学ぶ力」を高めます。
・学力向上の課題に応じた学校への指導主事の派遣による教員の指導力の向上
・教科主任指導力向上研修の充実
○子どもが自主的に学習する力を向上します。
・放課後等も利用した学習の補充を行う取組の推進
・各学校の家庭学習の手引き作成を促進し、保護者への啓発を支援
○新たな価値を主導・創造する教育を推進します。
・小学校、中学校、高等学校における系統的な英語教育の推進
・スーパーサイエンスハイスクールを核とした大学や研究機関と連携した取組の推進

＜主な指標＞
・授業の内容はよくわかると回答した児童生徒の割合
【小学校79%】
【中学校68%】
・1日1時間以上勉強する児童生徒の割合
【小学校60%】
【中学校65%】

自然や人とのつながりを通して豊かな心を育みます

○子どもの「自尊感情」を高めます。
・一人ひとりを大切に「環境づくり」「授業づくり」「仲間づくり」の実践研究
○新学習船「うみのこ」にふさわしいプログラムを検討します。
・びわ湖ならではの課題解決学習やアクティブラーニングを含んだ体験活動の実施
・児童自らが求め、学ぶ探究的な学習の実施
○いじめや不登校対策を推進します。
・専門家を活用して、教員の資質向上と校内体制の充実
・児童生徒によるいじめの未然防止の取組、学級会、児童会・生徒会の活動の活性化を図り、児童生徒が主人公となる学級・学校づくりを支援

＜主な指標＞
・「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合
【小学校79%】
【中学校65%】
・小、中、高等学校において不登校在籍率を平成30年度までに全国平均以下

子どもの体力を向上させ、健康な身体づくりを進めます

○子どもの運動に取り組む意欲を向上させます。
・「健やかタイム」「チャレンジ・ランキング」の実施
○子どもの頃から望ましい生活習慣を身につけさせます。
・がん教育および歯・口腔の健康教育の推進
・「食育の日」や「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動の推進

＜主な指標＞
・「健やかタイム」実施校【50%以上】
・がん教育実施校小・中学校【50%以上】

安全・安心な学校・地域づくりを進めます

○子どもの安全・安心を確保するため、施設改修に取り組みます。
・県立学校施設の耐震化をはじめとした施設改修
○子ども自らが命を守る力の育成を図ります。
・県主催、市町主催研修会の開催

＜主な指標＞
・学校防災委員会開催率(年3回以上)
小学校【70%】
中学校【60%】
県立学校【50%】

魅力と活力ある学校づくりを進めます

○高等学校再編計画を着実に進めます。
・平成28年度に統合新校を開校
多くの選択科目を設置して、生徒の夢の実現を支援する総合学科高校
『彦根翔西館高等学校』
少人数教育を特色として、新しい英語教育のモデルとなる普通科高校
『長浜北高等学校』

図書館教育を通して、社会の力で市民性を育みます

○学校図書館の活性化を支援します。
・子どもが自立した市民に育つよう、地域とともにある学校図書館づくりの支援
○地域とともにある学校づくりを推進します。
・コミュニティ・スクールや学校支援地域本部など、地域と組織的に連携・協働する体制の推進
○県民のくらしに役立ち、人の成長や学びを支える図書館を目指します。
・市町図書館と連携し、すべての県民に対して必要な図書資料の確実な提供

＜主な指標＞
・学校図書館が活性化した学校数【19校】
・地域と連携・協働する体制を持つ学校の割合【70%】

自立と社会参加をめざす特別支援教育を進めます

○「インクルーシブ教育」の仕組みづくりを進めます。
・障害のある子どもとない子どもが地域で共に学ぶことができる「滋賀のめざす特別支援教育の『基本ビジョン』」に基づいた実施計画の策定
・市町教育委員会等との合同研究会やモデル事業の実施によりインクルーシブ教育の仕組みづくりの検討
・高等学校における発達障害を含む障害のある生徒を支える体制づくりの推進

＜主な指標＞
・実施計画の策定

○障害のある子どもの職業的自立と社会参加を進めます。
・特別支援学校高等部卒業生の一般事業所への就職促進
・子どもがマナーや体力など働くための基礎的な力を身に付けられるよう、企業の知見を生かした授業の改善
・子どもが就職に向け具体的な目標を立て意欲を持って取り組めるよう、「しがしごと検定」を試行
・職業教育の充実に向けた教育課程の研究

・一般事業所に就職する生徒の割合
【特別支援学校高等部25.0%】

「文化とスポーツの力」を活かして元気な滋賀を創造します

【文化の力】
○「2015滋賀 びわこ総文」を高校生の力で成功させます。
・文化芸術活動の魅力を広く県民に発信
・生徒実行委員会等の活動の充実
○滋賀が誇る歴史文化の魅力を国内外に発信します。
・地域にある城跡や古戦場などを訪れる連続講座や県外でのシンポジウム開催
・彦根城や安土城等の英語版解説をインターネットで発信

＜主な指標＞
・県内高校生の文化部加入率【27.4%】
・戦国探訪等の参加者数【650人】
・県外シンポジウムの参加者数【700人】

【スポーツの力】
○2024年滋賀国体に向け競技力の向上を図ります。
・3つの柱「選手の育成強化」「指導体制の充実」「強化拠点の構築・環境の整備」
○県民が気軽にスポーツを楽しむことができる施設を計画的に整備します。
・最適調査の結果検証、庁内検討による調整

＜主な指標＞
・国体目標順位【20位台】
・インターハイ入賞数【30】

教育委員会を活性化させ、教育行政の更なる推進を図ります

◇教育委員会の審議を活性化します。
・県外視察と県内視察(ふれあい教育対談)を戦略的に実施し、課題や今後の方向性についての認識を共有し、施策に反映
◇市町教育委員会との連携を強化します。
・県内市町との意見交換を実施
◇総合教育会議における関連な議論を推進し、教育施策への反映につなげます。
・年度前半の有識者ヒアリングで、課題や今後の方向性についての認識を共有し、年度後半の施策に反映

教員が指導力を最大限発揮できる環境づくりを進めます

○子どもの学ぶ力向上に資するため、教員の授業力を高めます。
・学校等が主催する授業研究会および研修会への総合教育センター研修指導主事の派遣を推進
○教員が意欲と使命感を持って教育活動できる環境を整備します。
・学校組織の活性化と教員の人材育成を図り、学校目標の実現につなげる人事評価制度の構築
・女性教員の活躍の機会を充実し、一層の活躍を促進
○教員がゆとりを持って子どもに向き合える環境を整備します。
・教員の超過勤務の縮減、多忙化の改善